

青少年健全育成推進大会
8人の生徒が自身の思いを発表

7月8日、市民会館（手代町）で「白河市青少年健全育成推進大会」が開催されました。「少年の主張」では、市内の中学生8人が日常生活で感じたこと、体験したことなどを発表しました。発表後に行われた審査で、市長賞、会長賞等が決定し、受賞者には賞状が贈られました。また、会場には、発表を聞くために各中学校から多くの生徒が詰め掛け、発表の内容に共感したり、感動したりする姿が見られました。



▲自身の思いを発表する生徒

第6回市民芸能大会
日ごろの成果を華々しく披露

7月6日、市民会館（手代町）で、市文化団体連合会主催の「第6回白河市民芸能大会」が開催され、20団体が出演しました。約800人の来場者が見守る中、小さな子どもたちによる白虎隊の舞踊や、全身に響き渡るような力強い三味線と和太鼓の演奏のほか、民謡、大正琴など、64演目が華々しく披露されました。それぞれの団体の熱演に、会場は熱気と感動に包まれていました。



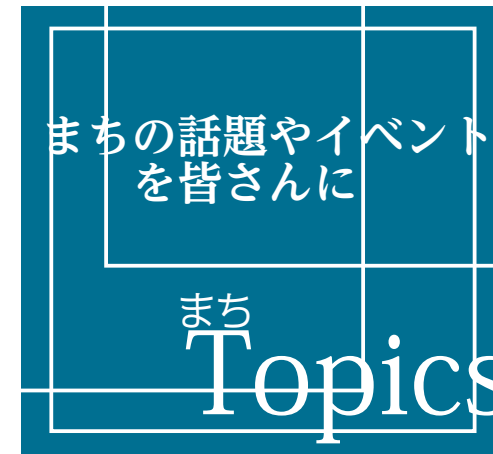
▲自慢の芸を披露する出演者

初の「しらかわ朝市」を開催
地元特産品が目白押し。10月まで6回開催

7月20日、JR白河駅前イベント広場で「しらかわ朝市」が開かれました。このイベントは、生産者と消費者の交流や地場産品の再発見、地産地消を推進する目的で開催しています。会場には、地元産の新鮮な野菜や果物、地場産品などが並び、早朝からそれらを買求める来場者でにぎわいました。今後は、8月10日、9月14日・28日、10月26日の土曜日に、午前7時から11時まで開催される予定です。



▲新鮮な野菜を買求める来場者



▲訓練の成果を競う選手たち

第5回白河市消防操法競技大会
36チームが訓練の成果を競う

6月30日、東風の台運動公園（東釜子）で、「第5回白河市消防操法競技大会」が開催されました。この大会は、団員の消防技術の向上と火災防御体制の強化を目的に毎年開催しています。今年はポンプ車の部で11チーム、小型ポンプの部で25チームが出場し、日ごろの訓練で培った技術を競いました。競技の結果、ポンプ車の部では白河方面隊第4分団第2部第1班（久田野）が5連覇を、小型ポンプの部では白河方面隊第7分団第3部（舟田）が初優勝を果たし、それぞれに栄えある優勝旗が授与されました。また、大会の前には「小型ポンプ・積載車・ポンプ車引渡式」が行われ、小型ポンプ5台、積載車2台、ポンプ車1台が各分団に配備されました。



▲ポンプ等引渡式の様子

富士システムズ「新白河工場」地鎮祭
今秋の操業を目指し工事の安全を祈る

「工業の森・新白河」C工区（萱根地内）への進出が決定し、「新白河工場」の建設準備を進めてきた富士システムズ(株)（東京都文京区、川口洋一郎代表取締役）が、7月8日に工場建設予定地で地鎮祭を行い、集まった関係者が工事の安全を祈りました。同社は、世界で初めてシリコーン素材によるカテーテルなどの医療用品開発に成功し、国内外の医療機関から注目を集めています。工場は11月の操業を目指していて、多くの雇用が期待されます。



▲関係者が工事の安全を祈りました